

タイトルデザイン 佐藤良助氏

エル プエンテ (橋)

秦野市立図書館報

No.37

2009. 3

## ☆20年度を振り返って

平成 20 年度に図書館で行った新たな取り組みをご紹介します。

### 🍵喫茶コーナーの設置



喫茶コーナーの設置

秋の読書週間  
(10/27～11/30)  
に合わせ、利用されていなかった  
戶外読書スペースに喫茶コーナーを設置、利用者

に快適な時間を過ごしてもらうため、ボランティアグループの「秦野市手をつなぐ育成会」の協力で試行的に実施しました。

メニューはコーヒー・紅茶・オレンジジュース各 200 円(クッキー付き)、クッキー200 円、マドレーヌ 100 円です。

### 実施日と利用者数

- |                          |                |       |
|--------------------------|----------------|-------|
| (1) 10 月 25・26 日 (土・日曜日) | 11 時～15 時 30 分 | 85 人  |
| (2) 11 月 2・3 日 (日曜日・祝日)  | 〃              | 159 人 |
| (3) 11 月 9 日 (日曜日)       | 〃              | 7 人   |
| ※11 月 8 日 (土曜日) 雨天中止     |                |       |

合計 5 日間の開催でしたが、おかげさまで評判も上々で、より多くの方に利用していただくため、今後も定期的  
に実施したいと考えています。

### 📖ブックスタート事業の開始

～絵本で親子のふれあいを～

平成 20 年 12 月からブックスタートが始まりました。ブックスタートは、絵本を開く体験を通して、赤ちゃんと



ブックスタートの様子

保護者が温かい時間をもてるように子育てを応援する取り組みです。地域のみなさんと協力し、それぞれの専門性

を活かしながら実施しています。

この事業では、平成20年4月以降に生まれ本市に住民登録されているすべての赤ちゃんを対象としています。7か月児健康診査の会場で、おはなしのボランティアさんが絵本の読み聞かせを行い、赤ちゃんとの絵本の楽しみ方をご紹介します。また、絵本のリストや図書館のご案内などと一緒に、お家に帰ってすぐに楽しめるように絵本を1冊プレゼントします。

まだ字を読むことやことばの意味を理解することのできない赤ちゃんでも、絵を見つめたり指差したり、読んでくれる人の声に反応して笑ったり、その様子に周りの大人も思わず顔がほころび、嬉しくなります。

なお、実施に当たり、地域みんなで子育てを応援しているメッセージを伝えるため、民間奉仕団体等8団体から協賛をいただくことができました。

### 🍌「秦野の文学誌」及び「かこさとし絵本展」の開催

10月16日から12月14日まで、秦野を舞台や題材にした文学作品を一堂に集めた特別展「秦野の文学誌」を開催するとともに、10月28日から11月30日にかけては、神奈川近代文学館の後援で、「かこさとし絵本展」を

行いました。

会期中には「語りと音楽・花音(かのん)」さんによる「かこさとし作品読み聞かせ会」と「朗読コンサート」を開催し、かこさとし作品を中心とした映画会を3回行い、企画を膨らませることができました。



上：「かこさとし絵本展」(10月28日～11月30日)

下：朗読コンサート(11月2日)

## ☆郷土資料の海原②

聞き取りによっていろいろなことを調べている時、「うちのお爺さんが生きていたら色々知ってたと思うけど。」などという言葉に、がっかりすることがしばしばあります。

お年寄りの話の中には、かつての秦野を知るための重要な情報がつまっています。何しろそれぞれの時代を実際に生き抜いてきたわけですから。

今回ご紹介するのは、今から20年ほど前に行われた秦野市老人クラブ連合会の『語り部運動資料集』です。



秦野市老人クラブ連合会『語り部運動資料集』

この本は、秦野のそれぞれの地域の老人クラブの会員が話題を持ち寄って作成されたもので、記事の多くが実際の見聞に基づいており、資料的価値はきわめて高いといえるでしょう。

精読してみますと、意外に知られていない事実が次々と目の前に現れてきて、「郷土」というものの奥の深さを感じてしまいます。よくぞこうした記録を残しておいてくれたと言うべきでしょう。

## ★新着資料案内



企画・製作 JA はだの 若槻武行著  
『協同組合の原点「報徳」を広めた安居院庄七』

かつて秦野あたりでは、皆で寄り集まって行う縄ないの夜なべ仕事を「ほうとく」と言ったそうです。漢字で書けば「報徳」で、当時の農村に二宮尊徳の「報徳思想」が広く受け入れられていたことを示すものなのでしょう。

「安居院（あぐい）庄七」は、蓑毛の御師の家に生れ、後に二宮尊徳の門人として静岡県の掛川周辺で「報徳思想」を広めた人物ですが、活動の中心地であった静岡県での行跡が多く伝わっており、秦野での活動は永く不明のままでした。ところが近年、明治時代に発行された『大日本帝国報徳』と

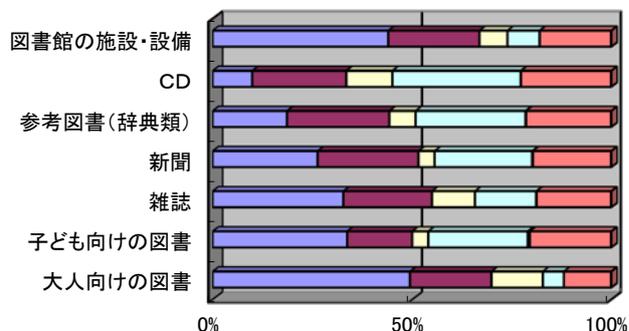
いう雑誌に庄七が小蓑毛で「報徳仕法」を実践した資料が掲載されているのが確認され、それを裏付ける記録が伊勢原の大山寺にも残っていることが分かりました。今回 JA はだの創立 45 周年を記念して製作されたこの冊子にはこうした新事実も加えてあり、庄七の運動を「協同組合の原点」と位置づけています。

## ★図書館ご利用アンケートについて

平成 20 年 9 月 12 日(金)から 14 日(日)までの 3 日間、来館された中学生以上の皆様にアンケート調査への御協力をいただきました。配布枚数は 1,392 枚、回収枚数は 1,069 枚、回収率は 76.8% でした。皆様が図書館について、日ごろどのようなことを感じていらっしゃるのを知る貴重な機会となりました。多くの方々に御協力をいただきありがとうございました。

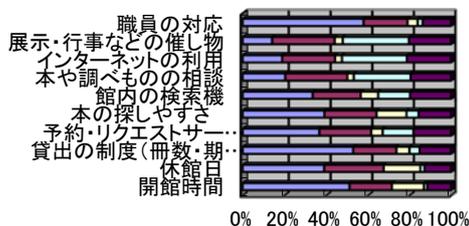
アンケートから、いくつかの項目についてご紹介します。

### 問. 図書館の施設・資料について



■満足 ■どちらでもない □不満 □わからない ■その他 ■未記入

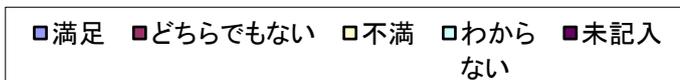
## 問. 図書館のサービスについて



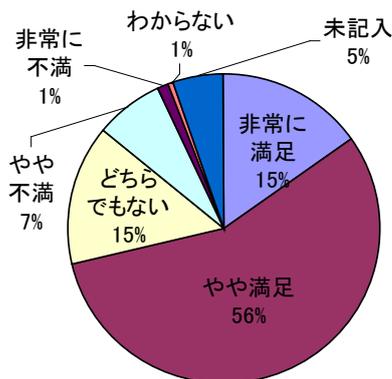
比較して、その他の資料の満足度が低いことがわかりました。

この他、皆様からたくさんの御意見をいただきました。すぐに解決できない問題もありますが、できることから取り組んでいきたいと思っております。引き続き御意見等をいただきますとともに、御支援、御協力をお願いします。

※このアンケートの様式・調査項目は、県央地区公共図書館連絡協議会（厚木市、綾瀬市、伊勢原市、海老名市、相模原市、座間市、秦野市、大和市、愛川町、清川村の公共図書館で構成）で作成したものを元に一部を変更しました。



## 問. 総合的にみて、どの程度満足していますか？



「非常に満足」と「やや満足」をあわせて約 70%の方から満足と評価していただきました。

アンケートにご協力いただいた様子  
(御協力ありがとうございました。)

資料については、大人向けの図書に

**EL PUENTE 秦野市立図書館報 No.37**  
 発行日 2009年(平成21年)3月29日  
 編集発行 〒257-0015 秦野市平沢94-1 電話 0463-81-7012  
 秦野市立図書館